



地域の「家守り棟梁」になりたい社長が届ける...

ジェントル通信

3月号

[発行者]

株式会社ジェントルワーク

〒579-8056 東大阪市若草町7-9

TEL: 072-974-5010

[発行日]

2024年3月1日 Vol.34

こんにちは！笠松です。

去年末辺りから大幅な間取り変更や新築の相談を頂くことが増えました。

それもあって従来の図面作成ソフトよりバージョンアップしたソフトを購入し、ピシバシ図面が書けるようになりました。それが…楽しくて楽しくて♪

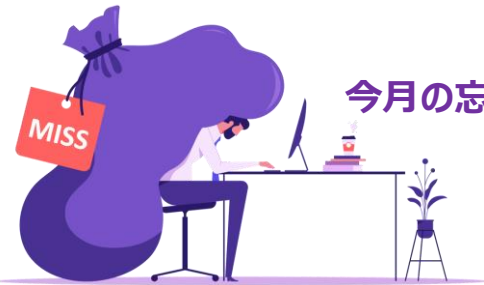
今は楽しくて何枚でも無料で図面が描けそうで、ついつい「図面作成しましょうか？」と言ってしまふ自分が怖い。...



発言したことに責任を持って
コツコツと積み重ねていく。
それが一番の近道。

有言実行

工事中のお客さんから、よく差し入れを頂くことがあります。
 コーヒーやお茶、お菓子や果物など手土産で持たせてくださり、恐縮しつつも有難く頂いてます。
 そんな中お客さんからの無茶ぶりでも頂く物もあり、正直…頂いてから困るものもあつたりします。
 無茶ぶりするお客さんは決まって
 『捨てるのもつたいないし、使えへんから持って帰って！使わなかったら処分してもいいから！』
 思わず
 『処分するのはコッチかい！』
 …と突っ込みたくなります(笑)
 頼まれたことを断るのが苦手なのか、お客さんの『もつたいない』という気持ちに共感してなのか、大体の物は頂いてしまうのが僕の性分。
 その為、自宅に物が増えていきます。
 例えば 収納ケース・謎の置物・年季の入った日曜大工道具・トランポリン・サンドバックなどなど
 持って帰って子供が喜ぶ物はあれど妻にとっては邪魔でしかない(笑)
 過去一番困った頂き物は、キャンプ場のコテージにありそうな丸太の木で造ったテーブルとベンチセット。
 デカくてメチャ重い！(笑)
 流石に友人にひきとってもらいましたが、残念ながらもまだ頂き物は我が家に残っています。
 引き取ってくれる優しい方はぜひ!! 連絡ください(笑)



今月の忘れられない失敗

子どもの頃の記憶！の巻



良からぬ事があると、よく過去の自分を思い起こす。

これは僕の常套手段で過去の失敗や苦しい経験を乗り越えたことを糧にして「今の状態はそんなに悪くない」みたいな…自分に暗示をかけ、心を楽にするという技。

皆さんも心当たりはあると思います。

それとは別で、迷った時や分からない時も過去の事例を無意識のうちに記憶の中から引っ張り出しているような気がします。

そんな過去の記憶の中から、僕が小学校5年生の頃の失敗を思い出しました。

友達と3人で、「秘密基地が欲しい！」という話になり計画をたてた。場所は近所の橋の下。大人みたいでワクワクしたのを今でも覚えている。

その日のうちに段ボールを持ち寄り、ガムテープで壁と屋根を固定し直ぐに基地は完成！

これで雨風がしのげて心行くまで遊べるぞ(^)/

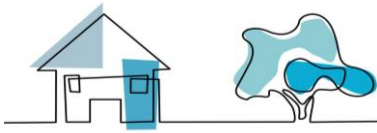
初めての家づくり。出来栄は良好でした(笑)

その頃から家づくりを夢見ていますが、プライベートな空間(自分の城)に心動かされたのは確かです。

最後のオチはお気づきでしょうが…

お決まりのように、その日の晩から雨が降り出します。次の日見に行くと、案の定僕らの城は、たった1日で陥落していました。

その記憶からか今も、雨の日になると現場の状態が気になり、窓が開いていないか？材料が濡れていない？台風や豪雨の後には、見に行ったり電話をしたりしてしまう。



家は、その家族の暮らしを映す。
既に職業病だと自覚しながら、今日も誰かの住宅を見て想うことを綴っています

今月のお宅

僕が気になったお宅には
お手紙を投函させていただいています。

今月の僕が記事に取り上げた一軒は、...

分譲マンション73平米の家(3LDK)

現在ご相談して頂いている家。
50代夫婦2人でお住まい、ペットにかわいい小型犬が同居している。

ご相談は

「海外製のキッチンをつけたい！」
「スケルトンにして間取りを自由に作りたい！」
「でもお金はそこまでかけたくない…」 という内容でした。

現状のお宅を内覧させてもらいましたが、とても綺麗に使われていてリフォームする所が見当たらない(笑)。

「えっ！全然このままで十分快適で生活できるのに…」
「〇〇さん今の生活のどこに不満があるのでしょうか？」

その質問を皮切りに、不満だらけの生活空間のうっぷんを晴らすようにご夫婦の説明が始まります。例えば洗面所を広く・リビングを広く・間取りが気に入らないなどなど構想は止まらず気づけば3時間、ずっとご夫婦の話を聞いてました…(笑)

普段、僕が提案する商品はそこまで高額でないものばかり。一方でお2人はこだわりが強く選ぶ商品は高級なものばかり(笑)でも安くしてほしい…お2人の迷走がはじまります。『コレもいいけど、アレもいい』理想と現実の葛藤！次回伺うとまた選ぶ商品が変わっていた(笑)

打ち合わせは8回を越え毎回、図面・仕様書・見積書の3点セットを書き換えお伺いすることに…



セット定価:227万円システムキッチン



セット定価:71万円洗面化粧台



20万円アンティークサイドボード

時々思うんです。お客様が建築業者に求めるものは何か？人柄や完璧な仕事をするのは当然のことだから、…価値観の理解と適切な提案だと思う。「少しでも安く」これは誰でも思うことで僕だって購入側なら同じ。

皆さんが言う「安く」というのは、ただ安ければいいというのではなく「リーズナブル」という意味で「納得がいく価格」だと思うんです。

そこで僕ら建築業者に求められるのは、お客様それぞれの「価値観」を理解すること。その上で「納得のいく価格」で提案すること。これがお客様から建築業者に求められる技術。

実際、見た目が同じキッチンでも様々な価格の商品が存在します。表には見えない裏板や裏側が安価な素材や仕上げになって価格が安いものもあります。そして今は世界中で様々な建材や設備が造られ輸入されているので、日々商品情報に溢れています。それを常にどこまで情報収集できているかも、僕たち建築業者に求められる技術です。

建築業者や設計士のこだわりも大切かも知れませんが、...
やはり、新築やリフォームの主役は僕ではなくお客様です。

今回のお客様から学ばせてもらったこと。